

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市立博物館協議会
- 2 開催日時 令和6年7月26日（金） 午前10時から午後12時まで
- 3 開催場所 水戸市立中央図書館 3階 視聴覚室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 桐原 幸一，笹目 礼子，桑名 実，村山 朝子，河原 将子，中庭 忠
小坪 のり子，玉川 里子，塚原 正彦，藤 和博，藤本 陽子
マーサー 川又
 - (2) 執行機関 鈴木 雅人，鎌田 洸一，小野瀬 永子，中村 有紀子，藤井 達也
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 報告事項
 - ① 特別展「江戸氏—知られざる水戸の戦国時代—」の結果について（公開）
 - ② 令和5年度博物館事業の実施結果について（公開）
 - (2) 協議事項
 - ① 企画展「夏休み子どもミュージアム そらとぶいきもの大集合！」の開催について（公開）
 - ② 常陸山生誕150年記念特別展「常陸山谷右衛門—「角聖」の生きた時代—」の開催について（公開）
 - (3) その他
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称 令和6年度第1回水戸市立博物館協議会
- 9 発言の内容
(開会のあいさつ)
【委員長】
早速議事に入りたいと思います。報告事項の(1)と(2)について、事務局から説明をお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

以上の報告について、何か質問ございますか。

【____委員】

江戸氏に関連してなんですけれども、江戸氏の時代背景も含めて同様の展覧会をやる予定はあるか。この展覧会は入り口論にしか過ぎないと思うんですね。日本っていう大きいマーケットを考えた時に、戦国時代で160年に亘って一つの地域を統治するって、とてつもないことだと思うんですよ。江戸氏の果たしてきた役割っていうのをもっとPRして、それこそNHKの大河とか民放の歴史ドラマとか、そういうところのプロダクションへの売り込みとか、踏み込んだプロモーションを考えているかどうか。

【執行機関】

ありがとうございます。この江戸氏のテーマについては、驚くほど反響があったというのが正直なところでして、やはり水戸と言いますと徳川家というイメージがずっと昔からあると思うんですけれども、徳川ではない時代っていうのをきちんと取り上げて、それを明らかにしていくということは本当に大切だと思っています。江戸氏を含めて、これまであまり取り上げられてこなかったテーマを積極的に取り上げて発信していく必要があるのかなと思っています。それで、江戸氏を例えば全国展開ではないですけど幅広く展開していくっていうのは、まだ十分にはできていないところです。ただ、この江戸氏というテーマを取り上げたことによって、今年に入ってから色々なところで江戸氏に関係する、例えば講演会を頼まれたり、江戸氏に関して情報を発信するというのは近隣地域ではかなり増えてきてるかなという印象はありました。ひとまずこの近隣地域での発信から続けていきまして、また何らかの形で、馬場氏であったり、これまで日の目を見なかった水戸の歴史に広く注目していただくきっかけを模索していけたらなというのは考えているところです。

【____委員】

やっぱり発信する場も担当者レベルのところは若干あるのかもしれないんですけど、発信する場合って同じ内容を熱く3回語ると情熱疲れしちゃうんですよ。でも聞き手っていうのは、日本全体でそういう情報に触れてない人たちはいつでもそういう新しい情報を求めているので、講演依頼が今後もたくさんあると思うんですけれども、講演疲れしないように、いつでも真っさらな状態で江戸氏を語っていただかなければと思いますので、よろしくお願いします。

【____委員】

江戸氏の方ですけども、今まであまりこう触れてこなかったところに着手したっていうのはすごく評価できると思いますし、内容もものすごく頑張って資料を集められて、構成としては素晴らしいと思うんですけど、やっぱり子どもたちにもうちちょっと関わりやすい工夫がもう1つあったらよかったなと。それから、図録なんですけど、増刷というのは考えなかったんでしょうか。期間中、会期残り2週間で売り切れたということで、まだ会期が残っていたので、そこで増刷するとか。

やり方によっては出来上がったら送付しますという方法もできたと思っているけれど、その辺は考えてもよかったのではないのでしょうか。

【執行機関】

図録の増刷については、年度末の時期でもあったので、なかなか予算の調達まではできなかったという事情があるんですけど、本当にいろんな人に江戸氏のことを話題にする度に、図録は再販するのかと聞かれたりもするので、何らかの形で再版の実現ができればいいなと思っているところです。展覧会が終わった後だとあまり売れない図録っていうのも結構あると思うんですけども、この展覧会の図録ですと、再販してもそれなりに販売部数は見込めそうだと思っているところです。

【____委員】

古文書ってなかなか展示映えしないってよく言いますけども、先ほどの事務局の説明でもあったように、20代とか若い人たちも非常に興味を持っているようですね。

ちょっと前の展覧会で、那珂川ヒストリーという水戸よりも広い範囲で那珂川の流域を捉えた面白い研究をやっていただきましたし、その前の徳川頼房展とかね、ずっと研究蓄積の中にあって、次は江戸氏に行こうっていうところで、非常に努力されてるところがあると感じています。別に歴史に限らず、地元に関することっていうのはやっていただけると、別に代表的特別展を何回もやるということではなくて。あと、その図録なんかも、よく東京の美術館なんかで大きくヒットすると、それが書籍化されていくっていうのがありますが、やっぱり再販できたら本当は良かったのかなっていう風に思います。

時に、要望書っていうのは、例えばこれは平成26年のものですけども、同じような内容でまた出していくのでっていうことで、出しているということで理解してよろしいでしょうか。

【執行機関】

要望書につきましては、もうあれから10年が経ち、当時の委員さんからだいぶ顔ぶれも変わってきていますので、今後の第7次総合計画においては、これからの博物館をこうしていきたいということを位置づけられるように発信していくつもりでおるところです。博物館協議会からもこういう形でお力添えいただいて、市長まで要望書を提出したという経緯もございますが、10年経っていますので、改めてもう1回上がってくることはなかなかないものですから、情報共有としてお出ししました。

【____委員】

10年経っているんで色々また問題点が起きているわけですね。空調が壊れるとか、建物自体のコンクリートが落下すると非常に危ない状況であることを、もうそろそろちゃんと考えていただかなければいけない時期だと思うので、資料の保管にしても、収蔵庫が狭いことでにっちもさっちも行かないし、当時よりも状況が非常に悪くなっているんで、これから色々博物館活動を続けていく上で、もう少しちゃんとした施設にぜひしていただきたいなとお話しするという機会があってもいいのかなと思います。

【執行機関】

博物館協議会において博物館をどうしていくかという話は、これからも継続的に続けていく話になるかと思いますが、資料にて御覧いただいているとおり、駐車場が狭いとか建物が老朽化しているとか、ある程度こういう課題として出てるものがありますので、それをまとめた上で、どのように対応していくべきかという話はこれからも続けていかなければならない話で、委員さんがおっしゃられたように、市当局も、これは本当に真剣に取り組んでいかなければならない課題だと認識しております。

【___委員】

せつかくの展示物がこの建物では生かされていない。六地藏寺さんからお借りしてきたお厨子があって、違う場所で文化財に指定する際に見せてもらった時は、とてもキラキラと輝いて素敵なお厨子だったんですが、ここの会場で見た時、薄暗く小さなぼんやりとしたものにしか見えなかったんですね。せつかく足を運んでもものを見るという機会に幻滅を味わったんではいけないですよ。心がときめかないですよ、もっと知りたいという。

また、江戸氏の展覧会を開催した後、もっとこうすればよかったとか、博物館としてたくさんの新しい情報を得たと思うので、単に再販ではなく、改定版として新たな気持ちで写真もきちんとして出された方がいいのではないかなと考えます。

それから市長の話でございますが、はたらきかけをするのに1番強い力になるのは、やっぱり協議会の意見ではないかと思うんですね。そうした時に、年度末の会議を待って意見をまとめましょう。では来年、来年度以降までは具体的に動かないことになりますので、もうちょっと積極的に動いていただきたいと思います。収蔵庫の中に入ったことはないんですが、私たち委員にどうぞ見てください、新しい作品が入りました、こんな立派な作品が入りましたって、収蔵庫の中で見させていただけるような環境になっているのかなって思います。

【委員長】

実は、今年の3月に館長さんと市長に、この要望書をどうしますかという話になったんです。これを今回取り上げてもらったのは、そういうことを皆さんにずっと忘れないでいて、私どもも忘れないし、もちろん課長さんも館長さんも忘れないしということなんで、今度、___委員さんも委員にいらっしゃいますので、そういう風なこともぜひ個人的には頭に入れたいと思います。

【___委員】

昨年度の3月に市長に面会してっていうお話まで進んだんですけどね。ただ、内容が10年前のものだったので更新していかないとっていうこともあるし、委員の更新もありましたので協議会の代表とはちょっと言えないところがあったものですから、今回こういう風に出していただいたんだと思います。ただやはり10年前なので状況が変わっているところはありますよね。ある程度耐震工事ができた一方で、___委員さんから御指摘があったような空調問題とか、コンクリート壁の問題もまた新たに出てきたり、あるいは新たな時代に対応した、よりデジタル化に対応したりもした博物館の方向とかもあるかと思うので、本日は共有という形になりますが、このままをこれから先も続けていくわけではないので、私たちの中でやはり更新していく必要があるかなと思います。

す。ぜひそういった意見を皆さんと集約する場というのも、それが次回になるのか、途中で設けられるか、事務局のお考えもあると思いますが、見解としてはぜひそれを持続したいという強い思いはあります。

【委員長】

この件については、継続ということによろしいでしょうか。

【〃委員】

事務局の方で、どういう風に進めていくか、あるいは10年経って更新して、こんな風ですみたいな案を次に出していただきたい。そういうことをしていただかないと、進んでいるのかどうか分からないので。

【〃委員】

事務局の方で要望書の内容を更新して、まとめていただければと思います。そして我々は投げられたものをそれぞれの立場で考えるというようなキャッチボールは絶対必要だと思うんです。で、常に考えてるんだよっていうことを市の側っていうかね、市長にもはたらきかけをするってことはすごく大事なことだと思います。

【〃委員】

子どもたちが何人かの建物内を駆け回っていたり、子どもたちは館内でこうして過ごしているんだなっていうところを目の当たりにして、車で来館がほとんどでしょうし、駐車場が原因で行ってみようとならない部分があるのかなと思っています。私は子どもの頃、ここにお邪魔して、図書館とか博物館をかけずり回っていました。そういう子どもたちへのアピールも含めて、例えばこの企画展だって、子どもたち本当に大好きな子がたくさんいると思いますし、江戸氏の展覧会も戦国大名のゲームやアニメを絡めれば多分もう少し拍車がかかったと思います。そういう子どもたちの楽しみを広めていただくきっかけ作りとして、市長さんがおっしゃっている子育て、子ども優先っていう、市の考え方があるのであれば、ぜひ子どもたちの行きやすい環境とか、取り組みやすい内容とかっていうのをまかせていただくのも1つあるかなと思いました。

【委員長】

今年とは限りませんが、今年度の間、こういうのを話し合うだけの協議会の時間をどこかで確保することをお願いしていこうと思いますのでよろしくお願いします。時間が迫っておりますので、次の議題に進みたいと思います。

【委員長】

続いて協議事項(2)について事務局より説明をお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

ただいまの説明について、何か質問や意見などありますでしょうか。

【委員長】

無いようですので、よければこれで会議を閉めさせていただきたいと思います。

【執行機関】

皆様、ありがとうございました。それでは、以上を持ちまして、令和6年度第1回水戸市立博物館協議会を閉会といたします。